

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

腹腔鏡下肝切除における肝内脈管解剖の評価

1. 研究の対象および研究対象期間

2021年4月から2024年4月までの間に、昭和大学藤が丘病院で術前CT画像を撮影したのちに肝臓手術を行った患者さん

2. 研究目的・方法

肝臓の中の脈管解剖は、これまでの鋳型標本による研究や画像解析による研究で十分に明らかとされており、これらで得られた解剖学的知識をもとに肝切除が安全に施行されている現状にあります。一方、近年は開腹による手術ではなく腹腔鏡を利用した手術が様々な領域で行われており肝切除も例外ではありません。腹腔鏡手術における術野は、開腹の際の術野とは若干異なり、開腹では様々な角度から術野全体を観察可能であるのに対して、腹腔鏡では限られた方向からの観察のみしかできない場合が殆どです。単一の方向からの観察で、肝臓のような内部透見が出来ない臓器内の脈管構造を術中に想定しながら肝切除を進めていく場合、一般的な肝解剖を十分理解していたとしても想定とは異なる部位で脈管に出くわすといったことをしばしば経験します。そこで本検討では、とくに開腹下で行なう際とはアプローチが大きく異なる肝S7亜区域切除という手術を想定し、腹腔鏡下における視野・術野でのS7亜区域切除における肝内脈管の走行を術前3D-CT画像を用いて解析することを目的としました。当院で術前CT検査を行い、肝切除術を受けて頂いた患者さんの画像を解析させて頂き、肝内脈管解剖の解析から脈管走行の特徴を明らかにすることを予定しています。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年03月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

術前に撮影したCT画像データならびに以下の臨床情報

背景:年齢(生年月日)、性別、身長・体重

原疾患:診断日、臨床的進行度

原疾患の治療歴:手術歴、病理組織学的検査所見、使用した治療薬の名称及びその中止理由
 合併症:(同意取得時に罹患中の疾患)有・無、疾患名
 既往歴:(同意取得時までには治癒した疾患)有・無、疾患名
 血液学的検査:赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値、白血球数、白血球分画[St, Seg, Lym, Mo, Eo, Ba]、血小板数
 血液生化学検査:TP, Alb, AST (GOT), ALT (GPT), Al-P, LDH, γ -GTP, 総ビリルビン、直接ビリルビン, BUN, クレアチニン, 総コレステロール, Na, K, Cl, CRP, CEA, CA19-9, AFP, PIVKA-II, DUPAN-2
 血清学的検査:HBs 抗原、梅毒検査、HCV 抗体、HIV 抗体
 生理検査:呼吸機能検査、心電図検査、心臓超音波検査

5 . 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6 . 研究組織

研究責任者	医学部外科学講座消化器・一般外科学部門	医師・教授	田中 邦哉
	藤が丘病院消化器・一般外科		
研究分担者	医学部外科学講座消化器・一般外科学部門	医師・助教	高橋 裕季
	藤が丘病院消化器・一般外科		
	医学部外科学講座消化器・一般外科学部門	医師・助教	峯岸 裕蔵
	藤が丘病院消化器・一般外科		

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属: 昭和大学藤が丘病院消化器・一般外科

氏名: 田中邦哉

住所: 横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号: 070-6426-9563